

# 日整連 第20回全日本自動車整備技能競技大会

## 優勝は谷口・常岡選手

日本自動車整備振興会連合会（日整連、橋本一豊会長）は、東京ビッグサイト（東京都江東区）で「第20回全日本自動車整備技能競技大会」を開催した。全国の自動車整備振興会を代表する53チーム106人が出場。競技の結果、福岡県自動車整備振興会チームの谷口修平選手、常岡兼次選手が優勝した。福岡チームの優勝は1997年開催の第11回大会以来、9大会ぶりの3度目。20回目という節目の大会で栄冠を勝ち取った。

競技は出場チームをA、Bの2ブロックに分け、実技、基礎、アドバイザーの三項目を90分の制限時間内で実施。整備士日本一を目指し、整備技術力や対応力を競い、合計得点（1千点満点）

で順位を決めた。競技車両には大会初の軽自動車（ホンダ「N-BOX」）を使用。販売台数を伸ばし続ける軽自動車の整備ニーズに対応した。また、全国各地から駆けつけた応援団は、のほり旗やおそろいのコスチュームを身に付け、競技をする選手たちに熱いエールを送った。設定された八つの課題をクリアするたびに大きな声援が響いた。

# 福岡整備 9大会ぶり栄冠

53チーム106人が出場



日本一の整備士をめざし、腕を競った



優勝旗を手にする谷口、常岡両選手

